

—大不況だからこそその最適化革新経済思想：回復でなく再生— '09/4/10, 29

{金-人}の使い方の大局的的整合と言う恐ろしく発想欠如がこの国を駄目にしてきた。

- ①**金余り**家計企業行政にあり、**無駄非生産的**な出費と人力の消耗状態にある、
- ②**金なし**家計企業行政だが**実需生産的**の仕事があるに**資金-人材雇用**ができない状態にある。

[1]：“化粧直し経済”と云う“大規模馬鹿さ加減”!

(1)家計-企業-行政：

地域独占私鉄があるのだが、金余りなのだろう、車両は年々豪華化、車内天井側壁には誰も殆ど見向かない立派な液晶TV、駅舎の化粧直しは年中行事、些細なゴミ拾いの清掃作業員も目立って多い(雇用貢献と云う言う意味か)、だが本質的な社会還元のコスト値下げだけではない。率直云って化粧直しが本質的実需生産と言えらるうか!最近目立つはまだ耐用年限に到底ない家を壊し、より劣悪木材柱を使用した化粧だけは豪華な住宅建設もある。何処に支障があるのかと思う道路舗装が剥がされ、新規舗装手直し公共工事、多少の崖石が落ちても支障のない箇所の鉄筋コンクリの巨額な重装備側壁工事、もう本当の**必需仕事**がなくなり、やたら目立つが**化粧直し公共工事**、必要ない行き止まり海岸地域に繋がる高架橋高速道路ができて仰天、接続のため貴重な**緑地山間資源**を潰して大規模切通し道路が作られる。豪華賢覧公共施設では肝心客足がさっぱりも珍しくない。これも箱物作り行政の**本質は化粧直し経済**、これで倒産防止-雇用貢献と云う理屈なのか。東京に出向くとやたら都心再開発が目立つ、秋葉は半年足を運ばないと様相が変わってしまう。しかしよくよくこの本質を見れば金余り資金が本質的に競って流行化粧直し、または敗退商店の交代異業種と云う化粧直し。家計を見よう。ブラウン管TVを薄型TVに変えるが、目的のソフトその物は年々お粗末愚弄番組、車も遙か故障前に新車乗換えだが、本質的機能は昔通り、事故も排ガス事情もさして変化なし。筆者が奇妙に思うは電気自動車開発、だが大局では路面電車復活こそが正解だろう。道路輸送本質主役である大型トラックには電気自動車は当面無理だろう。そも肝心出元の電力はどうする？。

[2](モデルチェンジと言う名の化粧直し産業)家電-自動車産業は時代遅れ戦艦大和!

筆者も過去に電子産業で糧を得た。この産業本質は大量廃棄物付随のモデルチェンジ需要しかない。それは上で述べた化粧直し。英米裏支援で日本海戦勝利した日露戦争の結果、その後日本は大艦巨砲主義一途に、だが時代は空母の時代になり、大和は出陣まもなく蜂の巣状態にたかられお粗末な最後、戦後**日本経済成長主役=家電自動車外需生産**も実は同様な宿命、米国今回大不況で最悪GDP低下13%を帰したのが日本、その脆弱性が誰の目にも明白になった。自動車家電産業はもやは日本救済にならず、今後は大規模な足かせになる。**大規模外需依存**のその大規模設備投資と大規模雇用の行き先がないのだ。この2大産業が凋落すると関連分野への影響は計り知れない。皆が結局これらを取り囲む格好で強弱程度

あれど依存してるからだ。電機-自動車産業は余りに肥大し過ぎた。淘汰と合併での生産規模縮小は覚悟すべきだ。

(3)人の弱みに付け込む非生産性の産業(民間警備, 受験産業, 医療産業) :

犯罪増と対応する**民間警備産業**, 実はこれらは警察官僚の天下り先, 工事現場の交通過剰警備も目立つ。東大を頂点とする学閥有名校崇拜と制度構造が、実態は子供能力を削ぎ、かつ父兄家計負担増を強制する**受験産業**。医療本来も直って当たり前で、明らかに極論だが医療経費は警備産業同様に健全性を前提にすれば無用費用。**医療産業膨張**が逆に死因一位**肺癌**や糖尿病を必要としてるのかも知れない。日本デ-ゼル車廃棄筒は下方道路向き、欧米は天空向き、現日本食品産業は徹底した顧客嗜好,**糖尿病**は医療費総額の2/3にもなる。日本人の虚栄弱みに付け込んだ冠婚葬祭大出費、勿論金持ち人が大判振る舞いで下々に金を分配する事は良い事なのだが。これら産業は実質的生産性に寄与しな、大規模な無駄を超えた有害な**寄生虫産業**は結局、商品価格上昇=国民生活負担増に悪作用・

(4)高齢者介護を商売化した大規模な愚行(金よりも実物提供!)

これからの日本は産業構造老齢化と文字通りの国民老齢化のW高齡化時代になる。若年層多数が介護ビジネスと言う美名の下に大量雇用されて現場に向かう。だが現実には低賃金と重労働、問題が起これば大責任になる。これ現場責任者が漏らした事だが若年者が現場介護数年も遣ると介護者も非介護者にも不幸な問題が起こると言う。勿論全員がと言う話ではないが、その毎日する業務内容現場をとくと見れば誰もが察する本質問題がある。家庭内での高齡介護の悲劇多数を既に皆が知ってるだろう。専門家もそれとなく暗示した事は高齡者介護は職業にしては行けない。介護医療は国財政、国民自身にもとても重いのだ。ではどうするか。**地域介護施設**を用意する。特別施設である必要ない(日本行政の最大愚行はすぐに箱物に金をかける、これを遣らないと凄く低価格になる)。一般賃貸家屋でも小規模(分散型)共同生活は可能だ。当然地域ならば自宅介護も遣り易い。但し医療専門知識を有する介護マネジャと看護婦は必須(電話通信での移動時間を考慮)、然るにその配下にある数の介護専業者とある程度の介護知識研修を受けた**地域ボランティア**(年金生活者、余暇主婦、土日会社員、学生)を募ればよいのだ。要するに余暇時間での国民全員介護補助員と言う思想だ。ボランティアはその活動時間に応じた報酬として将来、今度は自分の被介護権利獲得として記録保証される。これは人伝聞で聞いた有力な方法だ。地域をよく見れば、庭いじりを超えた、余暇ある年金生活者多数が意味ある仕事を求めている。重度医療を必要とする高齡介護は専門施設となろう。全くボランティアができない多忙人は逆に金持ちなのだから、その人は将来お金で解決すればよいはずだ。

[2] : そもそも現状の末期資本主義の化粧直し経済と世界普遍的な伝統生活法 :

①経済史を回顧、一体何処で大間違いをしたのか! :

そも経済とは寝食と子育ての人が生活する手段、初めは自給自足経済から始まり、後に
専門化と貨幣交換経済に発展、その後に{実需対応資本投資商工業化と金融}の分離、後に
資本肥大に伴う一人歩きが現代金融支配世界、実需の方はひたすら化粧直し経済が実情。
だがやる事は化石燃料大規模消費と資源破壊で己の首を絞める結末地球へ(気候変動危機)。

②通貨資産総額と負債総額の0サム会計定理の呪縛 :

本サイト読者はご存知なので反復しないが通貨資産増大ではそれに同額並行する負債存在
がある。金持ち多数あると言う事は他の何処かに大規模負債がある事になる。実は負債を
抱えるのは民間と最終的には国家になる。金融機関は負債額に対応する債権を持つので
債務不履行発生がなければ良いが、経済は必ず市場有限飽和で頭打ちになり、GDP 下降が起
きると必ず不履行=金融危機が日常に起こる。だから商売関係者はこぞで経済成長一本節
だけを合唱。だがどうあがいても無限成長など物理的にも不可能だ。かような明白事実が
経済学教科書には一切かかれぬ所に現代世界の最大詐欺が存在するのだ。過去 200 年
結果は上記の破滅的な二酸化炭素と言う破滅的ごみの集積とも一対なのだ。

③だが物質文明麻痺性と資本固執がひたすら過去栄光回復の財政刺激経済を発動要求 :

上記①②の事実を真正面から論ずる議論は世界広しだが筆者のここしか見れない。

レーマン破綻後の日本欧米は一斉に政府財政出動景気回復策を目論むが、これは過去蒸し
返し、確かにカンフルで一時期持ち直す、だが再度不況が来る。先進国は基本的に大需要
がない事、金融危機だけが連呼されるが、**経済は実需増大で初めて起動する。**だがそれも
必ず有限で頭打ち、そして再度不況と破綻発生で財政出動、かくて上記0サム定理は国家
財策赤字拡大一途に向かう。この究極が今回米国で、GDP1500兆円に対して負債総額は6000
兆規模らしい、とても返済など適わない。要するに危機先延ばしが0歳支配政治の本質。
要するに日米欧金権政治とは私有企業-私財体制固執に支配されて思想転換が不能状態。
この間に地球温度は一途上昇で、現状趨勢では最後の審判=全球地獄化が待つのです。
この経済大局(終局)構造は極めて本質的でこの理解がないとまともな将来議論は不可能。

- (1)余剰通貨資産総額=負債総額、負債者は設備投資等の将来経済成長での賭け、
- (2)だが市場有限性から、必ず成長停止から下降へ、かくて債務破綻不可避→不況必然、
この市場有限性を偽装的に交わすのが資源破壊&負債増モデチェン=化粧直し経済。
- (3)負債を国家が肩代わり=安易な財政出動とは0サム定理負債最終集積を国家集中。
皆不況で明日なき生活苦下だから、財政出動をこぞって大歓迎するわけですが、
- (4)その最終到達は国家財政破綻、行政機能停止、又は印刷紙幣政策インフレでの生活苦。

要するに破綻先延ばし政策である構造が国民に理解できるかどうかです!!!!!!。

④生活保障＝安定経済の究極の形＝自給自足経済(昔に戻る？と言う大正解!) :

理論究極としては孤島ロビンソンカルソ経済は最も安定、レーマン破綻などに無関係。その次レベルが世界各国の昔と今の田舎で普遍的に見られる**村落共同体自給生活**。分業化と広域化の化粧直し経済の**分業都市化**の結果が化石エネ過剰消費-世界同時不況と言う超不安定性を招来。この議論は既成概念の逆さまどころかご法度弾圧対象。問題は現実世界とこの究極経済への接続が見えない点だろう。実はせねばならない理由が気候変動破滅問題の世界認識。だからこそ北極海海底の**温度不安定大量メタンハイドレド爆弾**問題が世界公然の秘密になってる。全球1度上昇に対して北極圏は3倍の上昇, 浅瀬大陸棚海底のメタン氷塊は1~3度上昇で融解危険と言われる。過去地球史では2度, 大破滅があった。

⑤超富豪＝{ロックフェラ&ロスチャイルド}が最も恐れる**世界普遍的な伝統生活法** :

実は昨日まで筆者もリベタリアンなる語を知らなかったが無意識にその主義者、

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/109920665.html>

リベタリアンとは資本主義初期程度の経済、即ち基本は小農業商業での自給自足と小地域共同体生活で昔の村生活、**世界普遍的な伝統生活法**、「自分の事は自分でやる、国家や政府・役員は口出しするな。老人介護の様な自分1人で出来ない事は仲間と相互扶助でやる。政府は要らない。その代わり税金は絶対払わない」これは思想ではなく、自分の手で土地を耕し、食糧を生産してきた欧米市民生活実感であるため、支持者は非常に多い、この思想は今だ市民の間で「**自覚化**」されておらず、政治運動として組織化されていない。**政治化すれば欧米社会を貫く世界最大政治組織となる可能性がある**。既に一部地下水脈的に「情報の流れ」として組織化が開始されている。ロックフェラ、ロスチャイルドが最も恐れているのはこのグループである。

無政府主義では現状の皆を一層に不安たらしめるが、生活根源を迎えれば正解である事を否定できるか?。無税極論にならずとも、**小共同体生活**とは一つの究極概念の価値と見れる。

⑥南洋の島国は楽園だった! 現代社会学者も認める**小共同体理想社会** :

最も**最適な社会規模**を研究した科学者報告によると、皆が顔見知り規模の社会＝村＝小さい町程度が最も安定最適であるという話が記憶にある。著者は忘れたが、

⑦理論未完成の現状と読者諸氏への問題委託(批判ご意見はメールで下さい) :

経済学真相と気候変動問題真相の双方を勘案すると得られる結論は一つに絞られる!!!

だがその結論は到底既成体制と一般国民には了解できないだろう。明日の生活不安がある者に将来責任を問う事などはできない相談だからだ。科学者としての筆者責任は事実をありのままに報告するだけです。文句は事実言ってもらいたい。筆者に毒ガス車総攻撃をしても全く無意味、逆に自分が将来、ガス地獄への道に落ちるだけの悪魔仕業です。

⑧将来構想を欠いた過去回復だけの財政出動は将来を破滅に招く。新規再生が正解！:

以上議論で選挙だけ目当ての飴玉騙しの自民の麻生経済の旧式正体が見えましたか!!。彼には真剣勝負の将来ビジョンがない。米国欧州も同様に真剣勝負の様相は殆どない。米国オバマ政府は今の所、新旧の折衷政策。彼は80%CO2削減がないと気候回復不可能を承知してる。だから新エネルギー政策を推進するが、米国の従来慣性的な大ビジネス補修に金をかける化粧直しは無駄。だが強行右翼保守を黙らせるにはそれしかないのだろう。

要は無用な所の金-人を有用な所へ回すと言う思想と、政策方法の問題に尽きる。

もち論、誰も自分の金を無用と思わない金持ちが現状世界を牛耳ってる訳で、だからまわしてくれと言う者が政治勝利する以外に施工手段はない事になる。

この文書は日本語なので了解された日本人諸氏は世界最先端の思想発動人になれる。オルタナティブ通信氏によればリベタリアンは思想方法-組織化が具体化してないそう。諸兄妹の開発努力を期待します。